

令和 2 年 度

# 事業計画書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団



# 事業方針

## 【基本方針】

日本人の2人に1人が“がん”にかかり、3人に1人が“がん”で亡くなっており、日本は世界一の長寿国となった一方でがん大国にもなっている。

また、本県の高齢化率は、平成22年の26.3%から平成30年には31.9%（全国平均28.1%）と5.6ポイント上昇し、全国より早いペースで高齢化が進んでいる。

超高齢社会においては、「健康寿命」の延伸が今日的課題となっている。

このことは、平均寿命と健康寿命の差を短縮することにより、個人の生活の質の低下を防ぐとともに医療等の社会保障負担の軽減や介護人材不足の対応としても期待されている。

本県では、知事がすべての世代が生き生きと暮らせるよう「健康立県」を宣言し、健康づくりのための県民運動がスタートしている。

本財団としても事業目的である県民の健やかな長寿社会の実現を図るために県の「健康立県」の取組と連携しながら創意工夫を凝らした事業展開に努め、事業を効果的に実施する。

なお、事業展開にあたっては、県、市町村や医師会、歯科医師会等の保健医療関係機関、新潟大学を始めとした県内大学との有機的な連携に努め、多面的に実施する。

また、「がん教育」における中学校と、「がんと就労の両立支援」においては、商工会議所などとの連携により、若い世代や働く世代の健康づくりの啓発に努める。

併せて、今後の新規事業に向けては、

- ・増え続けるがん患者への支援として、サバイバーやその家族等が気軽に語り合い、悩みや不安を少しでも解消できる場（「がん哲学カフェ（仮称）」等）の事業について需要や実施可能性を検討する。
- ・認知症に対する啓発については、昨年6月に政府が認知症の発症や進行を遅らせる「予防」に初めて重点を置いた「認知症施策推進大綱」をとりまとめたところである。かねてから本財団にも“認知症予防の啓発”についての要望があることから、「認知症対策検討委員会」（仮称）を新たに設置し、本財団として認知症予防に寄与する事業の実施可能性について検討する。

- ・ 特定健診の検査項目等について、健診業務担当者が更に理解を深めるための「特定健診従事者研修会」を開催する。
- ・ 県より委託を受け5年目を迎える“フレイル克服プロジェクト”について、平成30年度から県の「にいがた新世代ヘルスケア情報基盤」構想が動き出しており、その構想内に“フレイル予防に取り組む”と明記されていることから、県と連携を図り、共通の目的である「県民の健康寿命延伸」の実現に向けて更なる事業の取組の推進を目指す。

## 【 公益目的事業 】

県民の健康の保持増進については、健康寿命の延伸を図るため、一次予防及び二次予防事業を中心に、以下方針により事業を継続して実施する。

### 《 一次予防 》 “ がんを含めた生活習慣病の予防知識の啓発 ”

普及啓発事業として、住民に対するがんを含めた生活習慣病に関する予防知識を啓発する。そのために一人ひとりが自らの健康状態の維持・改善に向け自主的に取り組む動機づけとし、市町村と共催で予防講演会を開催する。

教育現場からのニーズが高い「がん教育」について、中学生（家族）を対象に開催し、生涯のうち国民の2人に1人が“がん”に罹患し、3人に1人が亡くなっている現状を伝えるとともに、“がん”についての予防方法や罹患した際の治療方法等についての正しい知識を身につけてもらう。

また、県民に、生活習慣病に関する科学的根拠に基づいた情報をわかりやすく提供するほか、検診受診等の正しい行動ができるようにするため、ラジオ放送、電車内広告、フリーマガジン等の情報ツールを有効活用しながら、生活習慣病予防についての知識の普及啓発を行う。

啓発イベントでは、がんに関する専門家や体験者を講師に「がん征圧新潟県大会」、「ピンクリボンホリデー」を開催し、他団体が開催する健康イベント等も活用し、健康意識の高揚に努める。

## 《 二次予防 》 “ 受診率、検診精度の向上に向けた取組 ”

(特定健康診査・各種がん検診について)

新潟県検診機関協議会の会員機関に対し、精度管理等の実態を調査し、県民が“安心”して健（検）診を受診することができる実施体制であることを確認する。

(特定健康診査について)

「新潟県健診保健指導支援協議会」を通じて、特定健診受診率の向上、効果的な特定健診の実施のため、健診データの評価分析や健診従事者への研修事業等を実施する。

(各種がん検診について)

検診従事者の資質を向上し、がん検診事業をより円滑に実施するため、がん検診セミナーを開催し、受診率の向上、がんの早期発見、診断等に必要な知識及び技術の習得を図る。

また、5大がんについては、市町村、検診機関から集めたデータから“検診と精密検査”の結果をまとめた報告書を作成し、更に発見がんに対する疫学調査を行い、発見されたがんの病期等の詳細な情報を関係機関にフィードバックすることで検診精度の向上につなげる。

## 《 フレイル克服プロジェクト 》

### “生活機能の悪化を防止し、県民の健康寿命の延伸を図る”

県の委託を受け5年目となる“フレイル克服プロジェクト”については、フレイルによる生活機能の悪化を防止するため、加齢に伴うフレイル対策の確立に向けた“加齢介入モデル事業（一次予防）”と、医療から介護まで切れ目無いリハビリテーションのモデルを検討する“疾病介入モデル事業（二次予防）”を両輪として、市町村、新潟大学、医療機関、有識者等の協力を得てプロジェクトを進める。

## 《 がん治療と就労 両立支援セミナー 》

### “がん治療と就労の両立の実現に向けたセミナーの開催”

今、がんは2人に1人が罹患すると言われており、がんになっても働いている人、働きたい人にとっては、治療と仕事の両立は重要な課題となっている。

治療と仕事の両立を図るためには、経営者・医療関係者等の支援が必要となる。

このようなことから、昨年度に引き続き、今年度も「がんになっても働きたい!」という視点から、より良い両立支援の問題提起と改善への方策を探るためにセミナーを開催する。

## **【 収益事業 】**

本財団の財務基盤の強化を図るための主な収益事業として、本来、特定健診実施機関が行う特定健診料金を請求するための健診結果の電子データ作成について、本財団に委託を希望する健診実施機関等から電子データ作成業務の代行（約500機関）や個人結果通知書作成業務（約60機関）を有償で受託し、健診実施機関における電子データ作成についての事務作業の軽減を図る。

# 事業計画

## 〔 公益目的事業 〕

### I 特定健診・特定保健指導支援事業

「新潟県健診保健指導支援協議会」と連携し、市町村国保をはじめとする医療保険者が実施する特定健診・特定保健指導事業等の後方支援に努める。

#### 【実施内容】

- ・受診率向上等に向けた円滑な事業実施を図るため研修会等を開催する。
- ・広告媒体を用いた広報、健診データの評価分析等を実施する。

#### 1 会議・講演会等の開催

##### (1) 市町村健康診査等業務担当者研修会 (II がん検診等受託事業と共同事業)

特定健診事業等の円滑な推進を図るため、健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく事業に新しく従事する市町村の事務担当者等を対象とし開催する。

#### 【実施内容】

- ・健(検)診ガイドラインの説明、検診事務処理等の説明、健康づくりに関する講演等を行う。

(講演内容)

演題：「虫歯の治療と未来 (仮題)」

講師：新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座

う蝕学分野 教授 野杵 由一郎

##### (2) 健康診査事業合同打合せ会 (II がん検診等受託事業と共同事業)

特定健診を中心とした健康診査事業の円滑な実施を図るため、市町村、検診機関、県地域振興局健康福祉(環境)部、郡市医師会等の担当者を対象として、県、県医師会、県国保連の協力により開催する。

#### 【実施内容】

- ・健(検)診ガイドライン改正概要の説明、検診業務委託契約等の説明、健康づくりに関する講演等を行う。

(講演内容)

「乳がん治療について」または「認知症について」

### (3) 市町村と共同で開催する講演会（Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業）

健康長寿社会の実現を図るため、市町村の希望疾病分野について、専門医による講演会を開催する。

#### 【実施内容】

- ・生活習慣病（がんを含む）と歯周病等の予防を中心とした啓発を行う。
  - ・特定健診・特定保健指導及びがん検診を受診するための啓発を行う。
- ※5市村（村上市、燕市、魚沼市、妙高市、粟島浦村）

### (4) 中学生に対する生活習慣病予防等教育（Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業）

中学生に対し、がんを始めとした生活習慣病について、基礎知識や検診の重要性等について啓発を行う。

※10 中学校程度

### (5) 健診委員会

健診機関、医療機関において、特定健診業務が円滑かつ適正に行われるよう、健診委員会を開催する。

#### 【実施内容】

- ・特定健診の健診料金（案）を作成するとともに、特定健診結果の分析等を行う。

## 2 特定健診データ等の評価分析等

市町村国保等の健康施策の推進等に資するため、特定健診等の結果集計報告を基に、全県的な分析を行い、市町村比較が容易となるよう資料を作成する。

#### 【実施内容】

- ・主に問診項目、身体測定及び血液検査結果等について、全県的な統計分析を行い併せて市町村比較等が容易となるよう資料を作成し、本財団のホームページ上に掲載する。

## 3 特定健診・特定保健指導の普及啓発及び受診率向上のための事業等

### (1) 広告媒体を用いた普及啓発等

年齢層に合わせた訴求効果が高い媒体を選び特定健診等の受診勧奨を行う。

#### 【実施内容】

- ・ラジオコマーシャル、雑誌等への広告掲載のほか、電車内に広告を掲載する。

### (2) 普及啓発用パンフレットの配付

メタボ該当者等に対する生活習慣病予防に向けた意識向上に資するため、特定健診受診勧奨用パンフレット等を市町村国保、県内3国保組合へ配付する。



### (3) 特定保健指導者用テキストの整備

市町村が特定保健指導を外部委託しやすくするため、主に医師向けの特定保健指導者用テキストを配布し、特定保健指導を受託する開業医等の新規参入を促す。

### (4) 普及啓発用（貸出用）備品整備

生活習慣病予防に向けた意識啓発のため、血管年齢測定器等の健康教育資材の充実を図り、市町村国保などの関係機関に対し貸出しを行う。

また、市町村アンケートを実施し、貸出希望が多い資材等の購入について検討する。

### (5) 各種健康づくりイベントへの参加

「新潟ふるさと村」で開催されるBSN夏ラジオのイベントに出展し、参加者に血管年齢等の測定や、パンフレットの配布により特定健診等の啓発を図り、受診率の向上に努める。

## 4 特定健診・特定保健指導委託契約に係る事務

特定健診・特定保健指導を全県統一方式で推進するため、本財団が特定健診・特定保健指導実施機関の契約代表者となって、業務委託契約を締結する。

## 5 印刷物の企画、印刷・配付・斡旋等

### (1) 個人記録票、質問票、連名簿等の印刷

大量印刷することによるコストダウンを図るため、各市町村の必要部数を取りまとめた上、一括印刷を行う。

### (2) 特定健診・特定保健指導受診勧奨用ポケットティッシュ等の作成

市町村国保・県内3国保及び新潟県健診保健指導支援協議会構成団体が、健診時や各種イベントにおいて配布する特定健診受診勧奨用グッズを作成する。

## < 参 考 >

特定健診(後期高齢者健診等含む)

実施計画数	30	市町村国保及び県内3国保組合
	250,000人	(250,000)

( ) 内は令和元年度実施計画数

## II がん検診等受託事業

### 1 健康診査事業連絡調整事業

(1) 市町村健康診査等業務担当者研修会 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(2) 健康診査事業合同打合せ会 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

### (3) がん検診等に係る業務

がん検診等を全県統一方式で推進するため、県と県医師会から指導を受け、市町村、検診機関、郡市医師会等と協力し、検診事業が円滑に実施できるようコーディネートする。

#### ア 胃がん検診

実施計画数	30 市町村	(30)
	85,000 人	(90,000)

#### イ 子宮がん検診

車検診	実施計画数	25 市町村	(25)
		29,000 人	(30,000)
施設検診	実施計画数	27 市町村	(27)
		20,000 人	(20,000)

#### ウ 肺がん検診

X線写真読影(+撮影)	実施計画数	30 市町村	(30)
		212,000 人	(216,500)
喀痰細胞診	実施計画数	30 市町村	(30)
		4,800 人	(5,600)

#### エ 乳がん検診

集団検診	実施計画数	29 市町村	(29)
	(マンモ単独)	51,500 人	(53,000)
施設検診	実施計画数	16 市町村	(16)
	(マンモ単独)	10,000 人	(10,500)
	(視触診のみ)	10 人	(50)

#### オ 大腸がん検診

実施計画数	30 市町村	(30)
	130,000 人	(133,000)

#### カ 肝炎ウイルス要指導者等施設検診

実施計画数	2 市町村	(2)
	550 人	(550)

#### キ 前立腺がん検診

実施計画数	14 市町村	(14)
	8,500 人	(8,500)

( ) 内は令和元年度実施計画数

## 2 悪性新生物（がん）登録収集業務

「がん登録推進法」（平成 28 年 1 月施行）に基づき、全国がん登録データの收受業務等を県がん登録室及び協力医療機関と連携して行う。

実施予定件数            24,000 件            (22,000)

( ) 内は令和元年度実施計画数

## 3 検診結果統計分析事業

県・市町村等関係者のがん対策に資するため、各種がん検診の検診結果について、全県的な統計分析を行う。

## 4 がん検診データ等一元化事業

県内で実施されている事業所検診等の健(検)診事業全体を把握するため、新潟県検診機関協議会の協力を得ながら、各種がん検診結果について事業所検診等の任意型検診結果を取りまとめる。

なお、これまで特定健診結果についても市町村国保、県内国保組合以外の被用者保険等の健診結果を含めて取りまとめるための方策を検討し、一元化によるデータの有効活用を検討してきたが、平成 30 年度から県の「にいがた新世代ヘルスケア情報基盤」構想が動き出したので、その方向性を踏まえた上で再検討する。

## 5 疫学調査事業

「健(検)診ガイドライン」に基づき、令和元年度各種がん検診結果から「がん」及び「がんの疑い」と診断された者に対し疫学調査を実施し、調査結果を取りまとめる。

【配布先】 調査協力医療機関、市町村、保健所、郡市医師会、検診機関等

さらに、疫学調査により報告された患者に対する予後の追跡調査を実施する。

調査対象		疫学調査		追跡調査	
胃がん		200 件	(200)	400 件	(400)
子宮がん		160 件	(150)	150 件	(150)
肺がん		310 件	(380)	300 件	(300)
乳がん		150 件	(150)	300 件	(300)
大腸がん		350 件	(380)	700 件	(700)

( ) 内は令和元年度実施計画数

## 6 精度管理調査事業

伝統ある新潟県の健(検)診及び検診実施機関の一層の質の向上を図り、県民に“安心”して健(検)診を受診してもらうため、「新潟県検診精度管理調査委員会」において、検診機関協議会会員機関を対象に精度管理等の調査を行う。

## 7 研究研修事業

### (1) 新潟県がん検診研究会

がんに関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県がん検診研究会の円滑な運営等を支援する。

#### 【主な会議開催時期】

運営委員会	6月
第1回理事会	7月
総会	12月
第2回理事会	2月

### (2) 新潟県糖尿病対策推進会議

糖尿病に関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県糖尿病対策推進会議の円滑な運営等を支援する。

#### 【主な会議開催時期】

幹事会	6月
第1回理事会	7月
総会	12月
糖尿病ウォークラリー	10月
第2回理事会	2月

### (3) 新潟県検診機関協議会

新潟県検診機関協議会が目的とする県民保健福祉の向上に寄与するための検診技術及び精度の向上、情報交換並びに調査研究等の円滑な運営等を支援する。

#### 【主な会議開催時期】

定例総会	5月
役員会	4月、3月
常任幹事会	必要の都度

#### 【主な研修会開催時期】

フォローアップ研修会	1月
検診従事職員研修会	3月

## 8 新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会

新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会（12地域）において、肺がん検診の円滑な実施、運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の肺がん検診部会との連携を図る。

#### 【実施内容】

- ・新潟県肺がん検討委員会：年1回開催、委員8名
- ・地域肺がん検討委員会（12地域）

設置地域：新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡・  
魚沼・南魚沼・十日町・柏崎・上越・佐渡

## 9 新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会

新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会（5地域）において、乳がん検診の円滑な実施、運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携を図る。

また、企画委員会において「新潟はっぴー乳ライフ」事業として開催するピンクリボンホリデー等のイベント企画を検討し、乳がん予防の啓発を図る。

### 【実施内容】

- ・新潟県乳がん検討委員会：年1回開催、委員16名
- ・地域乳がん検討委員会（5地域）  
設置地域：新潟・下越・中越・魚沼・上越
- ・新潟県乳がん検討委員会企画委員会：必要の都度開催
- ・ピンクリボンホリデー2020

開催日 10月

場 所 未定

内 容 リレー講座、がん体験者トークショー、ブース出展等

## 10 新潟県前立腺がん検討委員会

新潟県前立腺がん検討委員会において、前立腺がん検診の円滑な実施、運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会（前立腺がん検診の内容含む）との連携を図る。

### 【実施内容】

新潟県前立腺がん検討委員会：年1回開催、委員12名

## 11 個人情報保護委員会・倫理審査委員会（必要の都度）

## 12 中学生に対する生活習慣病予防等教育（Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業）

## 13 フレイル克服プロジェクト

県民の健康寿命の延伸を図るため、関係機関と連携してフレイル克服対策の研究事業を継続する。

### 【実施内容】

#### （1）加齢予防介入モデル事業（一次予防）

在宅高齢者等を対象に、プロジェクトに参加希望の市町村における既存の介護予防事業等から得られたデータについて評価を行い、フレイル予防のためのエビデンスを得る。

(2) 疾病介入モデル事業（二次予防）

心不全、消化器疾患等の患者を対象に、エントリー希望者に対して新潟大学医歯学総合病院等の協力により疾患別に共通の指標を用いた介入調査を行い各分野における評価等を行う。

## 14 肝炎対策の普及啓発

新潟大学肝疾患相談センターと協力し、B・C型肝炎ウイルス感染の早期発見・早期治療に繋げるための啓発を行う。

【実施内容】

(1) 市民公開講座

開催時期 8月2日（日）  
場 所 新発田市  
内 容 講演等

(2) 職域における講演会

開催時期 未定  
場 所 未定  
内 容 講演会希望企業で講演会を実施

## 15 がん治療と就労両立支援セミナー

がん患者などが治療と職業生活の両立が可能になるよう事業所、がんサバイバー及び市民の理解を深めるため、就業上の措置や治療の対応について啓発を行う。

【実施内容】

開催時期 未定  
場 所 未定  
内 容 講演・シンポジウム  
対 象 経営者・人事労務担当者・就労者、医療関係者等

## 16 新潟県認知症対策検討委員会（新規）

新潟県認知症対策検討委員会を新たに設置し、本財団として新潟県の認知症対策に寄与することが可能か検討する。

## 17 「がん哲学カフェ」立ち上げのための調査事業（新規）

がん患者、経験者、家族等が、気軽に対話できる場所を提供し、患者、家族が少しでも不安や悩みを解消できるような支援について需要調査等を行う。

### III 生活習慣病予防普及啓発等事業

#### 1 生活習慣病予防普及啓発事業

##### (1) 生活習慣病予防活動功労者表彰

ア 新潟県健康づくり財団理事長表彰

表彰要領に基づき長年生活習慣病予防活動に功労のあった個人及び団体を表彰する。

イ 保健文化賞受賞記念特別表彰

新潟県健康づくり財団理事長表彰対象者のうち、本県の保健衛生の向上等について、特に功績顕著と認められる個人又は団体を表彰する。

##### (2) 生活習慣病予防展

生活習慣病予防の正しい知識の普及、各種検診の受診率向上、健康づくりの実践定着を図る目的で関係機関と「生活習慣病予防展」を共催する。

###### 【実施内容】

開催日 10月15日(木)

場所 柏崎市文化会館アルフォーレ

内容 生活習慣病予防に関するパネル展示、血管年齢測定等  
(第37回がん征圧新潟県大会と同時開催)

参加団体 県国保連合会、県看護協会、県栄養士会、県薬剤師会等

##### (3) 機関紙「陽光」発行

生活習慣病予防に関する論評、研究成果、統計資料、その他普及活動状況等について編集、発行する。

###### 【実施内容】

配付先 市町村、県地域振興局健康福祉(環境)部、県・郡市医師会、  
公民館、本財団がん征圧維持会員等

発行時期 7月、11月、3月(1回 3,500部)

記事内容 専門医からの医学的トピックス  
健康づくりに関する話題等

##### (4) 健康教育資材等の貸出し・配付

市町村等が生活習慣病予防知識の普及啓発を図るための支援を行う。

###### 【実施内容】

- ・がん病巣モデルや生活習慣病予防パネル等の貸出
- ・生活習慣病予防ポスター、パンフレット、リーフレット等を配付

#### 2 脳卒中情報システム事業

脳卒中の再発や要支援・要介護状態となることを防止するとともに、地域における脳卒中発症者の実態を把握する。

### 【実施内容】

- ・医療機関からの退院時情報提供及び脳卒中発症調査票並びに市町村からの脳卒中調査票を収集し、審査・集計・解析する。
- ・報告書を作成し関係機関に提供する。

(実施計画数)

脳卒中発症調査	700 件	(700)	
退院時情報提供	1,000 件	(1,000)	
脳卒中調査票	700 件	(700)	( ) 内は令和元年度実施計画数

## IV がん予防普及啓発事業

### 1 がん征圧維持会員募集及び寄附受入れ

がん征圧運動の推進の輪を広げ、啓発活動資金の造成、がん予防知識の啓発及びがん集団検診の推進を図るため、引き続き維持会員募集活動を行う。

- ・法人会員 市町村、郡市医師会、検診団体会員、一般法人会員
- ・個人会員 一般個人会員
- ・一般寄附受入れ

### 2 広報活動

がん予防のための正しい知識の普及とがん検診の受診率の向上を図るため、広報啓発活動を行う。

#### 【実施内容】

- ・マスコミを活用したPR
- ・パンフレット等作成、配布
- ・がん予防ポスターの配布
- ・がん征圧月間キャンペーン
- ・その他のがん予防に関する広報

### 3 第37回がん征圧新潟県大会

がん予防の啓発の一環として、県民にがんに対する正しい知識の普及を図り、定期検診により健康を確認することの重要性をPRするために関係機関の協力のもと開催する。

#### 【実施内容】

開催日	10月15日(木)
場所	柏崎市文化会館アルフォーレ
内容	式典 がん体験談(講師調整中) 特別講演(国立がん研究センターがん対策情報センター長 若尾 文彦)
対象	一般住民、市町村・検診機関検診事業担当者等



## V 研究研修事業

### 1 技術者研修会開催

#### (1) 健康診査従事者研修会

健康増進法等に基づく検診事業に従事する職員の資質及び技術の向上を図ることを目的として検診従事職員研修会に併せて開催する。

##### 【実施内容】

開催時期	3月
場 所	新潟市
内 容	合同研修、専門分野ごとの分科会
対 象	検診機関職員、保健所職員等

#### (2) 特定健診従事者研修会（新規）

特定健診をより効果的に実施するために、必要な知識の習得を目的として開催する。

##### 【実施内容】

開催時期	1月
場 所	新潟市 新潟県医師会館
内 容	講演等
対 象	市町村、保健所で健診事業に従事する職員等

#### (3) 細胞検査士研修会

子宮がん検診、肺がん検診の精度向上を図るため、細胞検査士の資質向上を目的として開催する。

##### 【実施内容】

開催時期	8月
場 所	新潟市 新潟県医師会館
内 容	顕微鏡による細胞観察、スライドカンファレンス
対 象	子宮がん検診、喀痰細胞診に従事する細胞検査士等

#### (4) がん検診セミナー

がん検診事業をより円滑に実施するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として開催する。

##### 【実施内容】

開催時期	1月
場 所	新潟市 新潟県医師会館
内 容	胃がん検診に係る講演、シンポジウム等
対 象	医師並びに市町村、保健所及び検診機関で検診事業に従事する職員等

## 〔 収益事業等 〕

### I 特定健診等健康情報管理還元代行等事業

#### 1 特定健診等健康情報管理電子化業務代行事業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託し請求業務を代行する。

受託先：約500機関

#### 2 特定健診等個人結果通知書作成事業

特定健診等個人結果通知書の作成依頼があった健診実施機関又は保険者に対し、受診者の特定健診等結果を作成し提供する。

受託先：約60機関

#### 3 健康づくり及び生活習慣病等に関する書籍の斡施並びに印刷物等の頒布事業

生活習慣病予防活動を推進し県民の健康の保持増進を図るため、疾病の種類ごとに生活習慣病予防、健（検）診による早期発見・早期治療について分かりやすく解説した書籍、リーフレット・パンフレット等を市町村・健診実施機関向けに頒布する。

